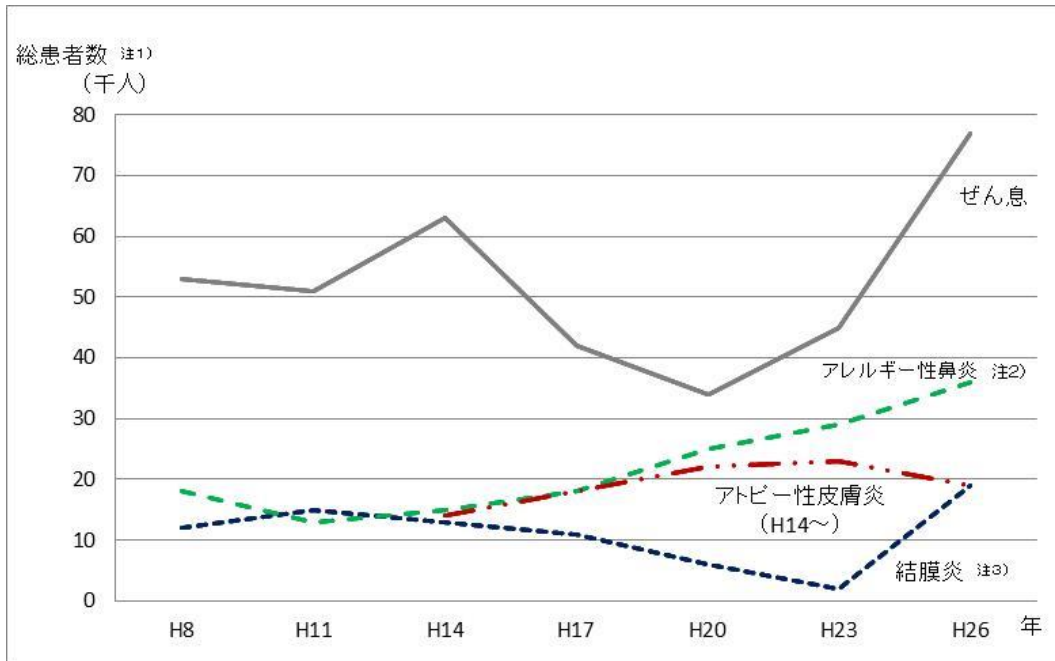


アレルギー疾患患者の状況について

1. アレルギー疾患推計患者数の年次推移（埼玉県）



出典：患者調査（総患者数、性・年齢階級×傷病小分類 注4）、都道府県別）（厚生労働省）

調査の時期：10月中旬の3日間のうち医療施設ごとに定める1日。

注1) 総患者数（傷病別推計）：調査日現在において、継続的に医療を受けている者（調査日には医療施設を受療していない者も含む。）の数を、数式により推計したもの。

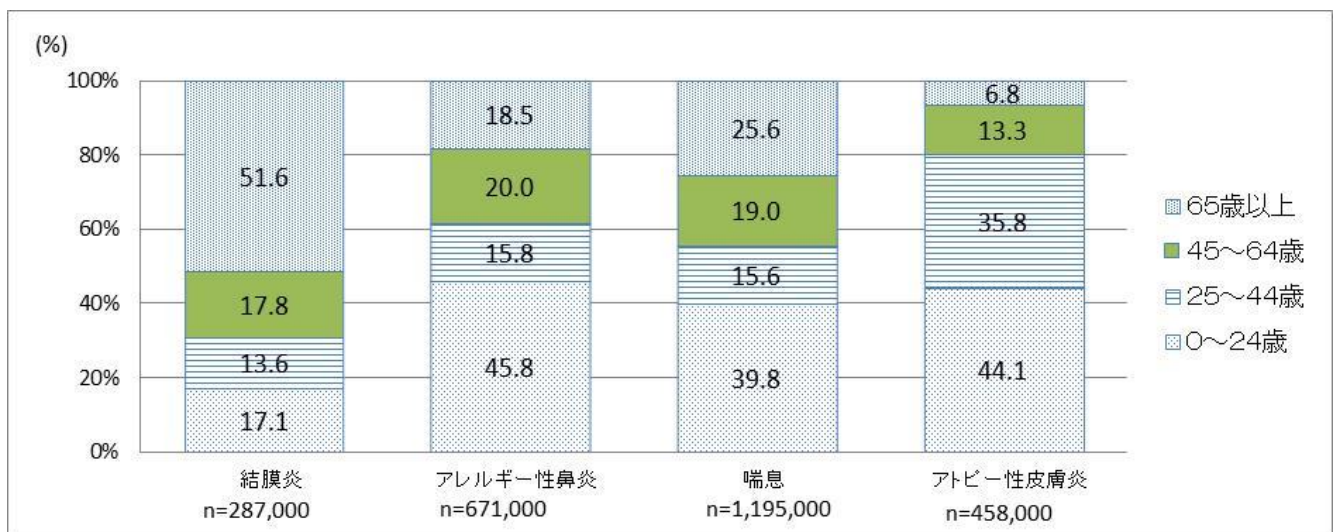
総患者数＝入院患者数＋初診外来患者数＋再来外来患者数×平均診療間隔×調整係数（6/7）

注2) アレルギー性鼻炎：花粉症によるものを含む。ただし、スギ・ヒノキ花粉による花粉症は2月～4月に多いため、本調査の患者数にはほとんど含まれないと推測される。

注3) 結膜炎：非アレルギー性の結膜炎患者を含む。

注4) H8及びH11のみ、傷病中分類別より抽出

2. アレルギー疾患患者の疾患別・年齢階級別構成割合（全国）



※グラフ上の数値は各年齢階級における患者数（千人）

出典：平成26年患者調査（総患者数（患者住所地）、性・年齢階級×傷病小分類×都道府県別（全国））（厚生労働省）

3. 食物アレルギーのある児童生徒の割合の推移（埼玉県）

※割合は、調査対象全体の児童生徒数を母数としている



出典：平成29年度学校給食における食物アレルギー対応実施状況調査結果（県教育局県立学校部保健体育課）

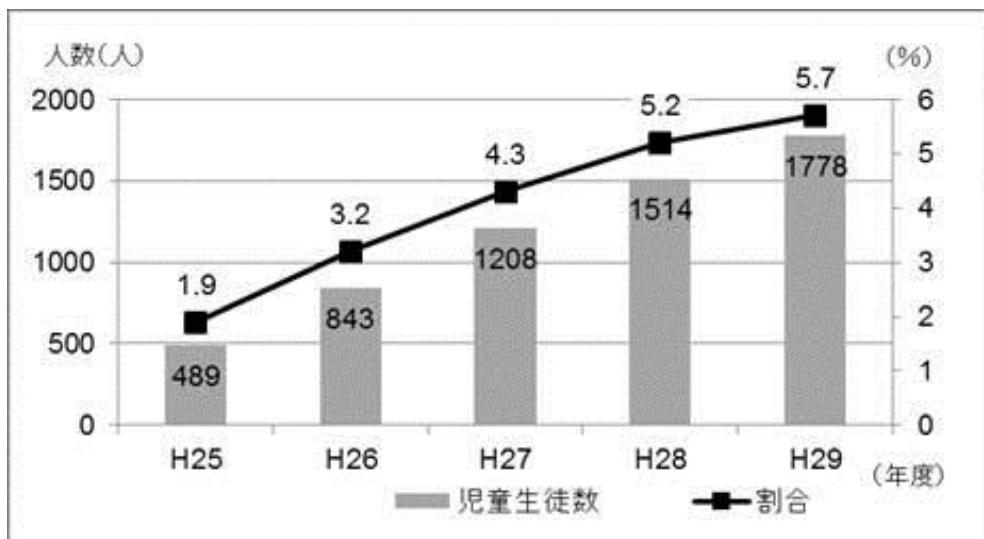
調査の時期：各年5月1日現在

調査対象：県内で完全給食及びミルク給食を実施する公立の小学校、中学校、高等学校（夜間定時制課程）、特別支援学校 1,284校、児童生徒数 561,179人

※保健調査票等から把握

4. エピペンを学校に持参している児童生徒数の割合の推移（埼玉県）

※割合は、食物アレルギーのある児童生徒数（31,337人）を母数としている



出典：平成29年度学校給食における食物アレルギー対応実施状況調査結果（県教育局県立学校部保健体育課）

調査の時期：各年5月1日現在

調査対象：県内で完全給食及びミルク給食を実施する公立の小学校、中学校、高等学校（夜間定時制課程）、特別支援学校